



和歌山県立医科大学 医学部
教養・医学教育大講座 主催

2024 年 夏の公開講座

8 月 12 日（月・振替休日）

◇ 無限の彼方を考えてみると — 射影幾何学の世界 —

◇ ナノスケールで炭素をあやつる

* 予備知識不要のやさしい内容です。

興味のあるテーマだけでも、気軽に受講していただけます。

会場： 和歌山県立医科大学 紀三井寺キャンパス 図書館棟 3 階
生涯研修センター 研修室

対象： 一般（高校生以上） 中学生以下の方の入場はご遠慮願います。

受講料： 無料

申込： 不要（当日直接会場にお越しください）

問合せ先： natsu2024@wakayama-med.ac.jp

和歌山県立医科大学ホームページ「イベント情報」の「夏の公開講座」をご覧ください。
お車でお越しの方は、和歌山県立医科大学附属病院駐車場（有料）をご利用ください。
気象警報が発令されている場合、当日の講演は中止とさせていただきます。

8 月 12 日（月・振替休日）

13:00～14:30 無限の彼方を考えてみると ― 射影幾何学の世界 ―

数学・統計学教室 武田好史

ルネサンス初期に絵画の技法の一つとして、透視図法と呼ばれる遠近法の一つが普及し始め、その中で“消失点”なるものが導入されました。やがて 19 世紀になるとそれは数学の世界に“無限遠点”として取り入れられ、“射影幾何学”という名の幾何学の一分野が成立しました。

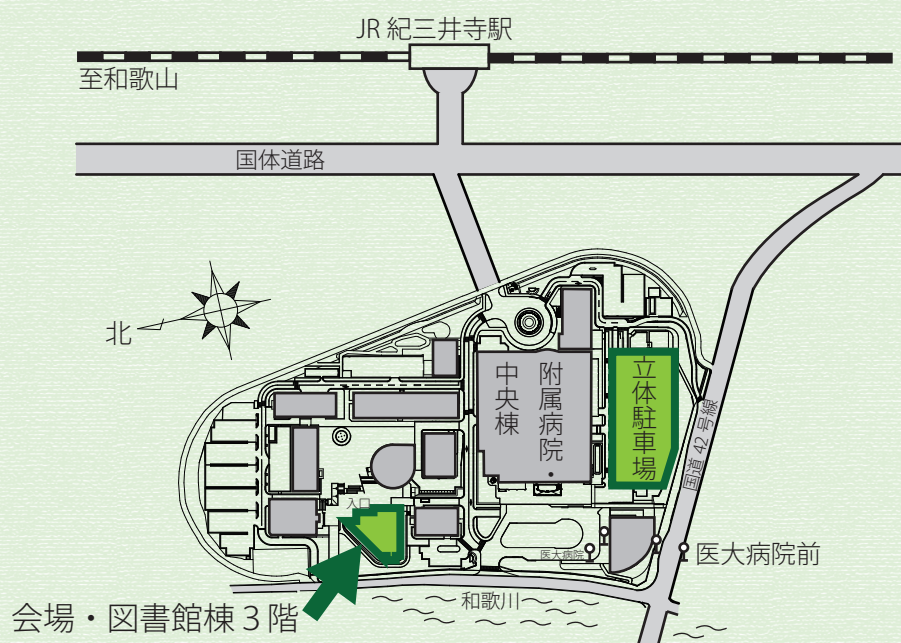
その特徴である「平行な二つの直線は無限の彼方で交わる」という思想を受け入れたとき、我々の目の前には魅力的な新しい幾何学の世界が広がります。

14:30～16:00 ナノスケールで炭素をあやつる

化学教室 大町 遼

フラーレン・カーボンナノチューブ・グラフェンに代表されるナノカーボン、炭素原子をナノメートル単位の非常に小さなスケールでつなげた物質です。これらの物質には、ナノサイズだからこそ現れる不思議な性質が存在します。基礎科学としてノーベル賞の対象になるだけでなく、近年では実用化や産業応用が進んでいます。「ナノスケールで炭素原子をつなげて、形を作り上げ、性質をあやつる」という点に着目し、基礎から応用例までを簡単に紹介します。

会場案内



公開講座の情報は
ウェブページでも
ご覧いただけます